



市議会だより

にほんまつ

第17号
12月定例会号

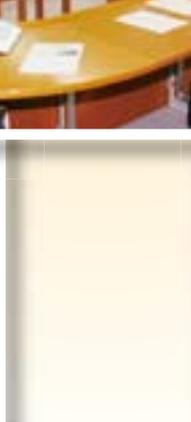
平成22年2月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel.0243-55-5143/Fax.0243-22-6047



市議会だより編集風景



「市議会だより」は、1号発行ごとに4回の編集委員会を開催し、作成しています。



<p>コミュニティバス運行条例を制定する条例等21議案を可決 新型インフルエンザ対策のための一般会計補正予算を含む11議案を可決</p>	<p>定例会概要 臨時会概要</p>	<p>2</p>
<p>会派構成、委員会構成と異動について</p>	<p>構成と異動</p>	<p>3</p>
<p>行政課題の解決に向けて 各常任委員会審査報告</p>	<p>委員会報告</p>	<p>4</p>
<p>市の明日を考える 一般質問に15人が登壇 ・市長2期目の決意と重点施策について等 ほか</p>	<p>一般質問</p>	<p>6</p>
<p>請願・意見書・議会マメ知識・議会の動き・編集後記</p>	<p>お知らせ</p>	<p>12</p>

二本松市コミュニティバス 12月定例会 運行条例を制定する条例等を可決

二本松市議会12月定例会は、12月2日から12月16日までの15日間を会期として開催されました。今回提出されました議案は、平成21年度一般会計補正予算、市条例制定、指定管理者の指定など市長提出議案15件、請願2件、議員提出議案2件、追加議案4件でした。これらを慎重に審議した結果、平成21年度一般会計補正予

算については原案のとおり可決されました。選挙管理委員会委員及び同補充委員の選挙が行われました。また、請願2件中1件は不採択となり、1件は趣旨採択となりました。最終日に議案3件が追加され教育委員会委員の任命の同意2件、監査委員選任の同意1件が提案され、全会一致で同意されました。

条 例

◎二本松市コミュニティバス運行条例
地域の公共交通を確保し、市民福祉の向上に資するため、コミュニティバス運行について必要な事項を定めるもの。

種 別	金額
回数乗車券	200円券12枚つづり 2,000円
	100円券12枚つづり 1,000円
定期乗車券	1箇月につき 4,000円 <small>(小学生以下の者は半額)</small>

◎二本松市二本松処理区公共下水道区域外受益者分担金徴収条例

公共下水道事業による計画区域内の管渠が整備されたことに伴い、二本松処理区に隣接する排水区域外から汚水を排除しようとする者から分担金を徴収し、公共下水道事業等に係る費用の一部に充てるため、必要な事項を定めるもの。

◎二本松市杉田子ども館及び二本松市学童保育所の指定管理者の指定について

二本松市杉田子ども館及び二本松市学童保育所の指定管理者を次のとおり指定する。

- 1 施設の名称
(1) 二本松市杉田子ども館
(2) 二本松市二本松南学童保育所
(3) 二本松市岳下学童保育所
(4) 二本松市杉田学童保育所
- 2 指定管理者の名称
社会福祉法人 二本松市社会福祉協議会
- 3 指定期間
平成22年4月1日から
平成25年3月31日まで

補正予算

◎二本松市一般会計補正予算
現計予算の総額に歳入歳出それぞれ103,994千円を追加し、予算総額を

27,001,870千円とするもの。

「主な補正内容」

- 総務費
・地域振興整備基金積立金の増額 103,070千円
・基幹系業務システム管理経費の増額 19,500千円
- 民生費
・老人福祉施設等整備事業の増額 62,500千円
・子育て応援特別手当支給事業の減額 57,150千円
・生活保護扶助費の増額 49,793千円
- 農林水産業費
・堆肥づくりサポートセンター整備事業の減額 123,675千円
- 商工費
・(助)二本松菊栄会支援事業 21,813千円
- 土木費
・一般市道整備事業の増額 13,000千円
・市営住宅維持管理経費の増額 13,200千円
- ◎二本松市国民健康保険特別会計補正予算
被保険者の推移と上半期の医療費の動向から、保険給付費の伸びが見込まれることによる補正措置。
- ◎二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算
電算システム刷新に伴う帳票等作成に係る補正措置。
- ◎二本松市介護保険特別会計補正予算
保険事業勘定において、介護報酬改定等に伴い介護サービス及び介護予防サービスに係る給付費を増額し、財源は制度の負担割合により措置するもの。

そ の 他

- ◎二本松市教育委員会委員任命の同意について
宮前 貢さん(大壇)、小泉裕明さん(太田)を適任者と認め同意しました。
- ◎二本松市監査委員選任の同意について
安齋永重さん(上川崎)を適任者と認め同意しました。

議員提出議案

- ◎電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について
- ◎日米FTA交渉に関する意見書の提出について

11月臨時会

11月臨時会が11月20日開催され、全議案とも原案どおり可決されました。提出された議案は11件、報告事件は平成19年度二本松市の健全化判断比率の修正についての1件です。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成21年度二本松市一般会計補正予算)

新型インフルエンザ対策として、ワクチン接種の費用負担軽減及び夜間診療体制の確保を専決した。

◎二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例等の一部改正について

国家公務員の給与等に関し、厳しい経済・雇用情勢が民間の給与に反映されたことに対する減額処置を行うもの。

◎二本松市一般会計補正予算

給与関係費の補正ほか、生活保護扶助費に係る母子加算復活による経費並びに本年8月の大雨、台風18号による災害被災箇所の復旧経費。

「主な補正内容」

- ・母子加算復活による生活保護扶助費の増 1,644千円
- ・土木施設単独災害復旧事業費の増 5,850千円

◎平成19年度二本松市の健全化判断比率の修正について

平成20年9月定例会で報告した健全化判断比率及び資金不足比率について、計算過程において過疎債元利償還金の取扱いが異なっていたため、実質公債比率と将来負担比率を修正し、監査委員の審査に付した健全化判断比率を報告。

会派構成、委員会構成の異動について

新会派結成により、会派構成、委員会構成が変わりました。

〔政策ネットワーク二本松〕

会長	渡辺 平一	鈴木 隆俊
副会長	野地 久夫	安部 匡俊
副会長	新野 洋市	遠藤 芳正
幹事長	佐藤 源一	高橋 正弘
事務局長	平栗 征雄	三浦 一良
経理責任者	浅川 吉寿一	加藤 和信
	斎藤 賢一	市川 清純

〔市政刷新会議「未来」〕

会長	斎藤 康晴	幹事長	鈴木 利英
副会長	斎藤 周一	経理責任者	本多 勝実

〔日本共産党二本松市議団〕

会長	斎藤 広二	経理責任者	平 敏子
幹事長	菅野 明		

※会派は3名以上

〔真誠会〕

会長	平塚 與志一	経理責任者	堀籠 新一
副会長	佐藤 公伯		佐藤 有仁
幹事長	中田 涼介		斎藤 徳

〔会派に属さない議員〕

小林 均	中沢 武夫	五十嵐 勝蔵
(公明党)		(維新会)

〈所管事項〉
議会、総務部、会計課、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）

総務常任委員会

委員長	浅川 吉寿一
副委員長	斎藤 五本 佐中市
	川藤 勝源 武清
	吉康 公勝 源武清
	寿晴 伯藏 実市夫純

市民産業常任委員会

〈所管事項〉
市民部、産業部、農業委員会及び工業団地造成事業所の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）

委員長	野地 久夫
副委員長	三浦 一良
	菅野 明 中沢 武夫
	菅野 明 菅野 明
	菅野 明 菅野 明

〈所管事項〉
臨時会を含む次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

議会運営委員会

委員長	菅野 明
副委員長	菅野 明
	菅野 明
	菅野 明
	菅野 明

〈所管事項〉
建設部、宅地造成事業所及び上下水道部の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）

建設水道常任委員会

委員長	鈴木 隆俊
副委員長	斎藤 新一
	堀籠 新一
	堀籠 新一
	堀籠 新一

〈所管事項〉
福祉部、福祉事務所及び教育委員会の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）

文教福祉常任委員会

委員長	安部 匡俊
副委員長	高橋 正弘
	高橋 正弘
	高橋 正弘
	高橋 正弘

複数の常任委員会に関わる事項を審査する場合に特別委員会が設置されます。

まちづくり調査特別委員会

委員長	渡辺 平一	副委員長	高橋 正弘	加藤 和信	佐藤 有洋	斎藤 広二	平栗 征雄
				堀籠 新一	新野 洋	斎藤 周一	中沢 武夫

行財政改革調査特別委員会

委員長	鈴木 隆	副委員長	小林 均	佐藤 公伯	菅野 明	安部 匡俊	佐藤 源市
				斎藤 康晴	中田 涼介	野地 久夫	斎藤 賢一

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市コミュニティバス運行条例制定について

問 将来においてバスの巡回コースの設定変更はあるのか。

答 コミュニティバスは、スクールバスのような利用と路線バスのような利用を兼ねていることから、地域の実情や利用実態に応じて、地域の皆様と協議しながら変更する。

問 コミュニティバスの運賃は、1人1乗車につき200円で、小学生以下の者の運賃は半額、3歳未満の者の運賃は無料と規定されているが、既存の民間の路線バスは保護者同伴という条件付ではあるが、未就学児は2人まで無料である。民間の路線バスとの整合性を図る必要はないのか。

答 利用者負担の原則に基づき、市民が利用し易い料金設定とした。民間の路線バスの料金設定を参考にしながら総合的に判断した。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

平成21年度二本松市一般会計補正予算について

問 堆肥づくりサポートセンター整備事業取り下げについて、土地を取得しているが、今後設置は可能なか。また、本事業の取り下げに伴い、ふるさと雇用再生堆肥づくりサポートセンター運営強化事業による雇用創出ができなくなったが、この補助事業を使って、他に雇用創出はできなかったのか。

答 平成20年度に堆肥づくりサポートセンター用地を購入し、平成21年度に建設予定であったが、反対者がおり今回取り下げとなった。反対者との合意を得られるよう引き続き積極的に説得をし、整備計画が実施できるよう努力する。

ふるさと雇用再生堆肥づくりサポートセンター運営強化事業については、センターの事業経営強化のためにオペレーターを養成し、雇用創出の一助としたい考えであったが、本事業取り下げのため今回併せて取

り下げとなった。この補助事業は、1件ごとの申請で内容等が精査されるもので、別の事業に組みかえることはできない。

新たな雇用創出について努力していく。



机上審査の様子

12月8日に付託された各議案は、12月11日から16日にかけて、各常任委員会で詳細に審査が行われ、最終日16日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員会で審査された主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

滞納家賃の民事調停の申立て／工事請負契約締結について

問 市営住宅の家賃滞納者に対して、滞納家賃を支払うよう調停を申立てる金額及び対象者の基準については、どのようになっているか。

答 12ヶ月以上かつ10万円以上の家賃滞納があり、催告書の送付や訪問指導などによっても改善がみられなかった4名を対象としており、合計金額は104ヶ月分で159万6,790円である。

問 総合評価方式による競争入札における評価点の基準については、どのようになっているか。

答 国の示すモデルに準じ、70点を価格面、30点を技術面で評価しており、その総合評価値により落札業者が決定される。なお、技術評価点には、同種工事の施工実績、ISO認証取得や災害協定締結の有無、ボランティア活動の実績及び除雪作業受託などの事項も反映される。



陣場・油王田線の現地調査の様子

文教福祉常任委員会

二本松市杉田子ども館及び二本松市学童保育所の指定管理者の指定について

問 学童保育所の職員の方は、どのような身分となっているのか。

答 一つの学童保育所に職員が3名おり、1名が社会福祉協議会の職員であり、残り2名が社会福祉協議会の臨時職員である。

問 子育て応援特別手当支給事業が、事業の執行停止により予算全額が減額補正になっているが、支出した費用はないのか。

答 広報紙による市民周知はしたが、該当者への通知等にかかる郵送代や印刷費については、事業凍結の情報もあり、執行せずいた。



杉田子ども館で説明を受けている様子



東和文化センターで照明修繕の説明を受けている様子

一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月8日から11日までの4日間にわたり15人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- 市長一期4年間の総括について
- 市長二期目の決意と重点施策について

問

- ① 合併後の初代市長4年間の総括は。
- ② 市長二期目の決意と重点施策は。
 - ① 子育て応援都市二本松について
 - ② ひとづくり、教育の振興について
 - ③ 高齢者の笑顔が輝くまちづくり
 - ④ 雇用拡大、産業の振興について
 - ⑤ 地域の特性を生かした農業振興について
 - ⑥ 自然、歴史、文化を生かした交流のまちづくりについて
 - ⑦ 住民が主役の地域振興について
 - ⑧ 自立できる自治体経営の行財政改革と来年度事業、予算編成の方針について

答

- ① 豊かな二本松市の実現に向け全力を傾注し、公約や各事業とも、長期総合計画に沿っておおむね計画通りに進んでいます。
- ② 長期総合計画に盛り込まれた事務事業の着実な実現に努め、公約に掲げた10大政策の実行に全力で取り組み、地域の特色を生かした一体的な振興発展を図ります。中学卒業までの医療費無料化や幼稚園、保育所の耐震補強工事の前倒し実施、雇用確保の要請活動や、限られた財源を有効に活用します。

三 浦 一 良

[政策ネットワーク二本松]



- 新規就農者の受入れ対策について
- 道路改良について

問

- ① ① 募集費用ふる里回帰支援センター「大地を守る会」ブース料旅費の支援は。
 - ② 地域支援ふる里案内人の育成支援は。
 - ③ 支援員宅でのインターン制度の義務付けについては。
- ② 南戸沢線第2工区について
 - ① 県営安達東部地域広域農道は実施は可能なのか。
 - ② 東和での負担金はどうなるのか。

答

- ① ① 田舎暮らしの実践者や受け入れ農家等の方に協力をお願いしますので、それらに係る費用について予算化して参ります。
 - ② 本市ではこのような制度は設けていない所であります。
 - ③ 個人の権利等を制約するための義務付けは困難。
- ② 改めて交通量を調査して今後検討します。
 - ① 国及び関係市との事前協議が整い次第、選択申請をしていきます。
 - ② 既に事業費に充当済みです。

佐藤 有

[真誠会]



- 市長2期目の抱負と政策について
- 新型インフルエンザ対策、中学生の予防接種予定は

問

- ① ①農業、商工業の景気対策の施策はあるか、農業が元気にならないと他産業も活気づかないと思う。本市独自の景気回復対策を伺う。
② 中小企業を含む雇用の促進と定住促進及び人口増対策は。
- ② 新型インフルエンザ感染症対策、特に受験を控える中学生まで早期に予防接種が出来ないものか。

答

- ① ①市民生活の安定と市の振興発展は、産業の振興と活性化促進である。農業の経営安定つまり国民の命の源、食糧の安定供給である。国の戸別所得補償制度導入などを期待している。
② 雇用の維持と新たな雇用創出を図る。魅力ある企業の誘致で、地域の経済活動を活発にし、人口の流出を抑え、定住促進と人口増につながる環境整備をする。
- ② スケジュールの前倒しがされているが1月中旬頃の予定である。

中田 涼介

[真誠会]



- 「地域主権」に対する市長の考え方について

問

- ① 補助金の一括交付化に対する考え方について
- ② 地方六団体(市長会)の位置づけについて
- ③ 今後の陳情活動について
- ④ 現行法(地方自治法)との関連について

答

- ① ひも付き補助金が廃止され、地方が自由に使える一括交付金に改められることは歓迎する。
- ② 地方自治法に基づく総務大臣への届出団体であり、地方自治の興隆繁榮に寄与することを目的とする。
- ③ 直接民主党県連を訪問及び国会議員に対しても陳情してゆく。
- ④ 国と地方が対等の立場に立つという地域主権の実現については、現行法において、先ず国があり、国の管理監督の下、地方自治体があるとの構図になっている。

小林 均

[公明党]



- 市長2期目の市政運営について
- 深刻化する介護現場について

問

- ① ①総合的子育て支援策の中身と、中学生までの医療費無料化は。
② 大手門整備の必要性は。
③ 城山総合体育館の毎週水曜日一般開放を廃止することについて。



無料開放日の城山総合体育館

- ② ① 家族介護者への生活支援は。
② 本市の小規模多機能型居宅介護施設の現状と課題について

答

- ① ① ブックスタート事業、養育支援訪問事業、東和地域へ子育て支援センターの開設等。中学生までの医療費無料化は、来年10月からの実施を目途に進めたい。
② 国指定の史跡で、貴重な本市の歴史資源、保存の必要がある。
③ 他施設と同様、来年4月から一般利用で、無料開放は廃止する。
- ② ① 経済的負担を軽減できる様、各種支援事業を行っている。
② 平成22年度と23年度あわせて、2ヶ所の開所を予定している。

中 沢 武 夫

[無 所 属]



- 平成22年度予算編成について
- 県道安達太良山線及び市道若宮・鉄扇町線の整備について

問

- ①国が行った事業仕分けのような行政評価を行う考えはないか。
- ②①県道安達太良山線の整備は、数十年來の要望であるが、遅々として進んでいない。今後の計画は。
- ②20年度事業で概略設計を実施したが、その後の計画は。
- ③超危険箇所である鉄扇橋に歩道橋を設置できないか。

答

- ①予算編成時に1件ごとに検討、見直しており、今後の検討課題。
- ②①20年度事業で不動平地内より市街地に向かって320mの測量を実施。今後は、全線早期完成を目指し、県に強く要望する。
- ②概略設計を検討した結果、若宮から高速道路までの1.130mを整備する計画とした。
- ③鉄扇橋の歩道橋は、県の許可が必要な上、多額の費用がかかることから、今後検討する。

平 栗 征 雄

[政策ネットワーク二本松]



- スカイピアあだたらにパークゴルフ場の設置について
- 菊人形の事業継続について

問

- ①パークゴルフ場を設置すれば、老若男女がふれあう場が出来ると思うが、当局の考えを問う。
- ②①この事業は今後も続けていくか。
- ②市民の参加あるいは協力出来る施策はあるか



第55回菊人形

答

- ①パークゴルフ場設置については、新たな施設投資ともなるので、当面は温泉保養館利活用の推移等をみながら検討課題と考えている。
- ②①本市にとって「二本松の菊人形」は秋の最大の集客イベントであり、全国に二本松市の名をアピールする最大の事業でもある。引き続き開催していく。
- ②誘客宣伝、情報発信、来訪者を温かくお迎えいただく事などに取り組んでいる。更に積極的に推進していく考えである。

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- 社会保険二本松病院の公的存続と医療の充実の取り組みについて
- 後期高齢者医療制度について

問

- ①①市長選挙で「社会保険病院の公的存続を公約されていますが、これまでの取り組みは。
- ②産婦人科医の充足が緊急に求められておりますが見解は。
- ②①後期高齢者医療制度は、22年4月に保険料値上げと70歳から74歳の1割から2割への負担増となる。そこで普通徴収の保険料の滞納状況は。
- ②特別な事情がない場合、保険料滞納者に資格証明書や短期保険証が発行できるが本市の状況は。

答

- ①①本市はもとより安達地方の中核医療機関として、なくてはならない重要な病院であり、存続について関係機関に要望してきた。
- ②市内で出産できる産婦人科病院は二本松病院のみ、県や関係機関に要請。これまで同様の地域医療が継続されるよう二本松病院と連携し対応していく。
- ②①平成20年度保険料の滞納額は763,000円となっている。
- ②本市ではいずれも発行していない。

高橋正弘

[政策ネットワーク二本松]



- 市政運営について
- コミュニティバス運行計画について

問

- ① 四年間振り返っての市長の市政運営の評価は、十大政策、基本政策の点検と評価は。市政全般についての舵取りは今のままで良いのか。
- ② 乗車券等の販売は民間にも委託するのか。旧市・町間の乗り入れは行うのか。

答

- ① 四年間の評価と十大政策、基本政策の点検、評価については実行あるいはその方向づけを行い、市政伸展に向けて成果を挙げることができたものとする。市政全般の舵取りは、長期総合計画の着実な実現に全力を傾注して市民の期待に応えていきたい。
- ② 民間の販売については今後検討する。旧市内の乗り入れは地域内交通と広域、地域間交通にわけて再編することとしており地域拠点と地域拠点を結ぶ交通は考えてない。

佐藤源市

[政策ネットワーク二本松]



- 観光立市推進事業について
- 地域おこし人材マップ作成について

問

- ① ①桜1万本のまちづくり事業の経過と次年度取り組みについて
② 本年度の観光客の入込みと次年度誘客事業の推進について
③ 夏無沼公園整備について
④ 市道夏無線整備について
- ② 特技、技能保持者のマップ作成をし観光交流等の事業への活用は。



夏無沼自然公園

答

- ① ①桜の名所の知名度アップを図るため新たな桜の名所を創出する。本年度5千本、次年度も取り組む。
② 前年同期対比102%で順調に推移し次年度は「イメージアップキャンペーン事業」によるPRをする。
③ 貴重な観光資源であり、地域のボランティアの方の協力を得、計画的に植栽し誘客宣伝に努める。
④ 東和地域の観光振興の支援事業として未舗装を計画的に実施する。
- ② 各分野の事業の問い合わせは、紹介しており今後検討する。

新野洋

[政策ネットワーク二本松]



- 22年度予算編成について
- 中心市街地活性化について

問

- ① 国の交付税を始めとする事業仕分けの影響についてどのように対応するのか。リーマンショックからドバイショック等の影響による危機的な経済悪化に起因する税収減をどの程度予測しているのか。
- ② 今回の事業仕分けで、戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金等、商店街・中心市街地活性化支援3事業が20%予算削減とされた。基本計画の事業認可に影響が出ないのか。

答

- ① 交付税、医療関係事業費等26事業に特に影響が出る。市長会等を通して国への要望を強める。税収減は21年度7%減、22年度は5%減を予測しているが、デフレ状況にあり再度検討を加える。
- ② 行政刷新会議の事業仕分けにより、商店街活性化支援事業が削減対象となり、少なからず影響が懸念される。今月下旬に内閣府に出向き、進め方について担当官と協議することとしている。

安部 匡 俊

[政策ネットワーク二本松]



- 小学校統合による廃校跡地利用について
- 政府の事業仕分により来年度予算が受ける影響について

問

- ① 住民センターと併設されている2校と単独の6校の管理はどうする。借用したい団体又は企業がいる場合どのようにするのか。インターネット公売はいつから行うのか。解体はいつから行うのか。
- ② 地方交付税交付金の影響は。農道整備事業について。中山間地域直接支払制度は。中山間地域総合整備事業への影響はあるのか。

答

- ① 公共事業への転用は考えていない。利活用できない施設は、撤去する方針。利活用を希望する事業者を募り、内容が地域の理解を得られるものは、積極的に貸借を進める。希望者がなければ、インターネット公売をする。それでも無ければ解体をする。
- ② 交付金については、削減も懸念される。農道現時点では不透明。直接支払制度は存続と思われる。総合整備事業は、ほとんど影響はないと思われる。

斎藤 康 晴

[市政刷新会議「未来」]



- 市長の政治姿勢について
- 円高・デフレ経済下の政策について

問

- ① ① 今回の市長選挙でマニフェストを発表しなかった理由は。
② これまで不祥事があれば市長は報酬カットなどの責任を取ってきたが、この度の職員の不祥事に対する市長の責任は。
- ② ① 年間予算250億円程度の二本松市では、経済対策には限りがある。この際思い切って人材育成に重点を置くべきでは。
② トップアスリート育成には施設(野球場、室内練習場、芝生サッカー場等)が足りていないが。

答

- ① ① 具体的なマニフェストではなく公約を発表した。
② 担当課長以下を処分した。市長としての責任の取り方は、今後の再発防止に努めることと考えている。
- ② ① 人材育成に力を入れたい。特にトップアスリート育成にも取り組む。
② 室内練習場は体育館改修で検討する。野球場、芝生サッカー場等については、早急に市民委員会を立ち上げ優先順位を決定する。

斎藤 広 二

[日本共産党二本松市議団]



- 土木建設工事などの入札制度の見直しについて
- あだち保育園の増築について

問

- ① ① 最低制限価格の引き上げについて
② 手持ち工事数の見直しについて
③ 予定価格の事後公表について
- ② ① 定員120人のため増築を要望してきたが、どのような検討がされてきたか。
② 平成22年度入所希望者と安達地区の0歳から5歳までの人口は何人か。

答

- ① ① 平成22年度の早い時期を目標に検討してまいりたい。
② 手持ち工事数は5件迄だが他市等を調査し早急に検討したい。
③ 平成16年7月に事前公表にしたが、県内他市の状況をみて検討したい。
- ② ① 国の臨時交付金で検討したが次年度に繰越できない為断念した。入所待機者も出たことから増築について検討したい。
② 入所希望者は149名。5歳まで595名になっています。

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 雇用問題について
- 今年の除雪について

問

- ① ① 高校新卒者の就職内定率が県全体で50%台と低い。市内高卒者の就職支援のため、市として何らかの対応を図るべき。
② 国民生活に困難と将来への展望を奪っている「労働者派遣法の抜本的な改正」と、アメリカは失業給付期間を最大140日延長することを決めた。厳しい雇用状況のもと失業時の生活保障でもある「失業給付の延長」を国に強く求めるべき。
- ② 今年の除雪体制は万全か。

答

- ① ① 二本松、大玉、本宮の行政や商工団体、県立高校、中学校長会でハローワーク二本松に事務局を置く安達地方雇用協議会を組織している。国・県の対策と連携し取り組む。市として新年度、緊急雇用事業として新規高卒者の臨時職員雇用を検討している。
② 国の雇用対策を見極め、更に必要な対策は市長会等を通じて協議、引続き要望していく。
- ② 昨年度比1社減の42社で除雪。交通の安全面で十分な対応を図る。

表彰

平成21年12月1日、二本松市表彰規則の規定に基づく市政功労者表彰式が行われ、市議会議員から次の方が表彰されました。おめでとうございます。



市議会の議員として6年以上在職し、功労表彰を受賞した三浦一良議員。(戸沢)



市議会の議員として6年以上在職し、功労表彰を受賞した高橋正弘議員。(太田)

新議員紹介



平成21年11月29日執行の二本松市議会議員補欠選挙で五十嵐勝蔵さん(66歳)が当選しました。任期は平成22年6月30日までです。

- ・議席番号／5番
- ・住所／二本松市茶園二丁目236番地
- ・電話番号／22-0457

議会傍聴

12月定例会第3日目の12月9日に塩沢住民センターの「高齢者学級」及び「女性講座」の受講生38名が議会傍聴に訪れました。

当日は一般質問のため活気のある討論が展開され、受講生も真剣に聞き入っていました。

皆さんも是非、議会傍聴においでください。



みなさんからの請願

【趣旨採択となった請願】

◎EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願

【不採択となった請願】

◎「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出について

可決された意見書

☆電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書（衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・資源エネルギー庁長官）

☆日米FTA交渉に関する意見書

（内閣総理大臣・外務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣）

会議録

会議録は本会議での一般質問を、そのまま記録したもので、広く市民に会議の内容を明らかにすることを目的に作成されています。

ホームページアドレス

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/gikai/kaigiroku/kaigiroku-top.html>



議会本会議における議員の発言等については、各市議会で会議規則などで詳細に決められています。本市での概要は次のようになっています。

- 本会議において発言しようとする者は、あらかじめ議長に発言通告書を提出しなければならない。
- 発言は、すべて議長の許可を得た後、登壇してしなければならない。
- 質疑は、一議員につき3回を超えることができない。
- 一般質問は、当局の答弁時間を含めて60分以内とする。

お知らせ

◎次回の定例会は3月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先

〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

編集後記……………

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年、世界的な不況、経済危機など暗いニュースが多く景気も2番底などといわれました。国内では政権交代がなされました。京都清水寺の一字で1年間を表現する文字は「新」でした。市政にも直接影響が予想されます。市民の皆様が、夢と希望のある1年となることをお祈りしております。

編集委員会

委員長	平 栗 征 雄
副委員長	遠 藤 芳 位
	堀 籠 新 一
	佐 藤 有 晴
	斎 藤 康 晴
	本 多 勝 実
	平 敏 子
	鈴 木 隆

議会の動き（10月～12月）

- | | | |
|-----|----|--------------------------|
| 10. | 7 | 京都府福知山市議会文教建設常任委員会行政視察受入 |
| | 8 | 市議会だより編集委員会 |
| | 13 | 市議会だより編集委員会 |
| | 14 | 埼玉県上里町議会文教厚生常任委員会行政視察受入 |
| | 20 | 埼玉県秩父市議会議会だより編集委員会行政視察受入 |
| | 21 | 議員協議会 |
| | // | 議会運営委員会 |
| | 29 | 安達地方市町村議会議長会議 |
| | 30 | 議会運営委員会 |
| | // | 選管委員・補充員選出打合せ |
| 11. | 9 | 会派代表者会議 |
| | 11 | 鹿児島県出水市議会建設水道常任委員会行政視察受入 |
| | // | 第8回地方分権改革・道州制調査特別委員会 |
| | 16 | 会派代表者会議 |
| | 17 | 国見町議会総務文教常任委員会行政視察受入 |
| | // | 第152回福島県市議会議長会臨時総会（～18日） |
| | 19 | 議会運営委員会 |
| | // | 安達地方議会議員研修会 |
| | 20 | 平成21年第7回（11月）臨時市議会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 24 | 行財政改革調査特別委員会 |
| | 26 | 安達地方広域行政組合議会議会運営委員会 |
| | 27 | 議会運営委員会 |
| | // | 市議会だより編集委員会 |
| | 30 | 安達地方広域行政組合議会11月定例会 |
| 12. | 2 | 平成21年第8回（12月）定例会開会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 16 | 議会運営委員会 |
| | // | 平成21年第8回（12月）定例会閉会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 18 | 議会だより編集委員会 |

